

令和7年度 丘珠中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：33011

「学ぶ力」	
これまでの 成果	課題
<p>◇分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている。 ⇒85.8%（前年比+8.6%）</p> <p>◇学習で困っている友達に声をかけたり一緒に考えたりするようにしている。 ⇒84.1%（前年比+3.2%）</p> <p>主体的対話的な学びとして、授業内で ICT などを利用して集団の中で学びを深める活動が増えてきた成果だといえる。</p>	<p>◇自分で計画を立てて勉強している。 ⇒51.1%（前年比+2.3%）</p> <p>◇難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。 ⇒63.6%（前年比-0.6%）</p> <p>成果とは対照的に個人の学習では、計画的で意欲的に学習に取り組んでいると回答した生徒は全体の半数程度であった。</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題</p>	
<p>◇札幌市全体の共通指標アンケートでは、相互承認に関する5項目のうち、「自分にはよいところがある。」と「自分が必要とされていると感じる」の2項目が他の3項目と比べ10%以上低い。他者との交流を肯定的にとらえつつも自分に自信がなく、相手から必要とされているのか不安に感じており、消極的な姿勢になってしまうことが懸念される。交流の中で、自身の良い点や達成度を再認識させる活動が必要になってくる。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

協働的な学びを通して、自身の『成長』を再認識し、それらを自ら伸ばしていく力

	AAR サイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自治的な活動の充実
取組	<p>◇研究主題「自分の『成長』を実感し、次の学習に活かす」指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イントロダクションでは、生徒が見通しをもてるよう課題設定の工夫と解決の姿を予想する活動 ・各教科で生徒が自身の達成率を実感できる活動 ・生徒が協働的な活動を通して、自身の『成長』を実感する活動 <p>⇒リフレクションで自身の活動を振り返り、良さを伸ばし次の課題解決に向け積極的に活動に取り組める活動</p>	<p>◇学年内または他学年との交流を通し、個人、集団の良さに気づけるような場を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇パートナー校との連携 ◇リフレクションを通しての個人の振り返り

〈本プログラムの実行に向けて〉

